

間伐材を利用した丸太のベンチを製作

釜石地方林業振興協議会（会長：沿岸局農林部長）では、被災者支援として地元間伐材を利用した丸太のベンチを製作し、仮設店舗や保育園、病院等に贈った。

スギ丸太材は釜石地方森林組合が提供し、協議会員である釜石市の製材所が製材を担当。

組立ては、沿岸広域振興局農林部、釜石市水産農林課、釜石地方森林組合職員が交代で実施。

製作したベンチは、長さが1.8mで高さは子供用と大人用に分けて11基製作。

配付内訳は、釜石市鶴住居町田郷の仮設店舗に5基、大槌町の大槌保育園に2基、県立大槌病院に3基、鶴住居郵便局に1基をそれぞれ設置した。

仮設店舗でベンチを利用した人からは「丸みがあって木の温もりや優しさを感じる」と好評。

保育園(園児62人)の園児は、「座り心地が良いので、ずっと座っていたい」と木の感触を楽しんでいた。

大槌病院前で利用した人からは、「ベンチに座ってバスを待てるので大助かり」と喜んでいた。



木製ベンチの製作状況



大槌保育園への設置状況



大槌病院前バス停への設置状況